

学 の 道



全国学力学習状況調査号
富士市立富士川第一中学校
令和 8 年 9 月 9 日

4月23日(木)に、全国学力・学習状況調査を実施しました。この調査は毎年、中学3年生を対象に行われています。この調査の目的は、全国の生徒の学力、学習状況を把握・分析することや教育施策の成果と課題を検証し、改善策を図ることです。また、生徒への教育指導の充実に役立てることも目的の一つです。

調査内容は、国語・数学・英語・生徒への質問です。夏休み中に調査結果が文部科学省から届きましたので、お知らせいたします。今回の結果を踏まえて充実した学習ができるよう、授業改善や活動の工夫をしていきます。また、この結果を基に御家庭と学校とで情報等を共有しながら、生徒たちにとってよりよい学習環境を整えられればと考えています。

学力調査の結果（国語・数学・英語）について

【国語】

分類		区分	R 8 平均正答率 (%)			全国との差 (ポイント)
			本校	静岡県	全国	
学習指導 要領の 領域	知識 及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	66.4	63.4	63.0	+3.4
		情報の扱い方に関する事項	79.2	71.7	70.4	+8.8
		我が国の言語文化に関する事項	——	——	——	——
	思考力 判断力 表現力等	話すこと・聞くこと	57.9	65.1	63.9	-6.0
		書くこと	72.3	68.4	67.4	+4.9
		読むこと	68.6	60.8	59.7	+8.9

国語科では「話すこと・聞くこと」の正答率が全国や県の数値を下回り、それ以外の正答率はすべて上回る結果でした。特に「読むこと」においては、8.9ポイントと大幅に上回りました。授業の中で1年時より継続的に、文章中の言葉や語句のもつ意味を正しく調べる学習を通して、言葉の意味が理解できた成果だと思われます。昨年度まで課題となっていた「情報の扱い方に関する事項」については、「資料や機器を用いて自分の考えをまとめること」や、「相手に分かりやすく伝えられる表現方法」が定着してきました。これはタブレットの日常的になってきたことによるもので、こちらも8.8ポイントと大幅に上回りました。今後も授業や活動で、自分がまとめたことや資料を基に、何を相手に伝えたいのかを明確にして、練習や実践をしていくことが必要だと思います。

【数学】

分類	区分	R 8 平均正答率 (%)			全国との差 (ポイント)
		本校	静岡県	全国	
学習指導 要領の領域	数と式	6 2 . 6	6 8 . 5	6 7 . 8	－ 5 . 2
	図形	4 3 . 9	5 1 . 1	4 8 . 7	－ 4 . 8
	関数	4 9 . 1	5 4 . 6	5 4 . 8	－ 5 . 7
	データの活用	5 1 . 9	5 5 . 3	5 3 . 5	－ 1 . 6

数学科では4つの区分すべてにおいて正答率が全国平均を下回りました。

しかし、「データの活用」の区分においては全国との差が比較的小さく、これまでの学習の成果を少しずつ見られ始めています。

課題としては、生徒の数学科への苦手意識が強く、新規の学習内容のフィードバック学習を行うことが大切となっています。毎時間の授業の最初の活動で、前時の復習や基礎・基本の課題を取り入れ、定着を図っていきます。

【英語】

出題の趣旨	R 8 平均正答率 (%)			全国との差 (ポイント)
	本校	静岡県	全国	
音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	61.1	61.5	60.2	+0.9
日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	94.4	80.8	78.5	+6.9
日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	73.7	76.2	76.0	-2.3
日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる	52.9	48.4	43.8	+9.1
社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる	55.6	57.7	55.6	0
音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	70.4	69.5	67.3	+3.1
日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	82.4	75.5	72.4	+10.0
日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	57.9	67.9	63.8	-5.9
日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる	55.6	49.6	49.0	+6.6
社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	51.9	49.8	47.5	+4.4
社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	24.1	30.7	27.8	-3.7
音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	55.6	66.2	58.9	-3.3
音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	50.0	57.3	52.7	-2.7
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	55.6	53.2	47.5	+8.4

英語科では、日常的な話題について、話を聞いて概要や要点を捉えること、短い文章を読み、概要や要点を読み取ることについては、全国や県の平均を上回りました。反面、自分の置かれている状況から判断して、必要な情報を読み取ることや、社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えと理由を書くことなどは、全国や県の平均を下回りました。英語でのコミュニケーション能力や文章を読み取る力は身に付いているようです。しかし、自分に置き換えて判断することや、社会的な話題について考えることなど、日常生活において時事問題に気を配る事が必要となります。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 本校のよい点と課題

質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査で、アンケート形式で回答するものです。

○「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が静岡県平均や全国平均よりも高い項目

○よい傾向	本校	静岡県	全国	全国との差
○学校に行くのは楽しい。	88.9%	86.9%	85.4%	+3.4ポイント
○自分には、よいところがある。	87.0%	84.9%	84.0%	+3.0ポイント

◎地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	85.2%	74.5%	72.3%	+12.9ポイント
○将来の夢や目標を持っている。	72.2%	69.0%	67.6%	+4.8ポイント
○新聞を読んでいる。(週に3回以上)	9.3%	6.4%	6.2%	+3.1ポイント

【よい点】

調査結果から、9割近くの生徒が「学校へ楽しく登校している」ことが分かります。この数値はここ数年続いており、富士川第一中学校の生徒のよさでもあります。

さらに、2年続けて「自分にはよいところがある」の項目が全国の平均を上回る結果となりました。これは自己肯定感が高まっている証拠となります。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の項目では、全国の平均を12.9ポイントも上回る結果となりました。この要因としては、昨年度同様、地域のボランティア活動に参加した際に地域の様々な方々から、生徒を認めることや感謝の気持ちを生徒へ伝えていただいた結果だと思えます。また、学校の活動に保護者の皆様の御理解と御協力があったことだと思います。本当にありがとうございます。後期には、生徒が創る文化発表会、運動会、特別活動の行事を通して、よりよい学校が創れるよう応援していきます。

●静岡県平均や全国平均よりも低く気になる、又は課題とされる項目

●気になる傾向	本校	静岡県	全国	全国との差
●朝食を毎日食べていますか。	88.9%	92.4%	90.9%	-2.0ポイント
●友達関係に満足している。	88.9%	91.3%	91.2%	-2.3ポイント
●学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。（学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	2時間以上 18.6%	2時間以上 30.0%	2時間以上 30.1%	-11.5ポイント
●（土）や（日）等、学校が休みの日に2時間以上勉強する。（塾や家庭教師、インターネットの活用も含む）	24.2%	28.2%	29.9%	-5.7ポイント
●学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	85.1%	88.7%	87.0%	-1.9ポイント

【気になること】

気になることとしては、「学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。（学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」という項目が18.6%でした。県や全国も決して高い値ではありませんが、全国の平均を11.5ポイントも下回る結果となりました。ご家庭でも家庭学習の取組について考え、自分なりの学習習慣を身に付けてほしいと願っています。

最後に、全国平均を大幅に下回ってしまった項目には、「朝食を毎日食べていますか。」です。生徒は栄養補給が必要以上に欲する成長期でもありますので、毎日朝食を食べて登校できるよう御協力をお願いいたします。

『今後の行事についてのお知らせ』

10月5日（月）から9日（金）までの5日間で、三者面談を行います。そこで学校と家庭が手を取り合い、生徒たちの中学校卒業後の進路について話し合う時間いしたいと考えています。